

## 1. 病棟の具体的な目標と評価

## 1) 安全で質の高い看護を提供する

- (1) 指導パンフレットを個々の患者に合わせられるよう改訂した。今後は、使用回数を増やしていく。
- (2) デスカンファレンスをがん性疼痛認定看護師の参加で実施した。倫理的視点で多角的な振り返りとなり患者・家族の希望に沿う看護を考えられた。終末期看護に活かせるよう、デスカンファレンスを継続する。

## 2) 病院経営に参画する

- (1) 重症度、医療・看護必要度の監査結果をフィードバックすることで入力漏れが減少した。算定率は、ほぼ 30%以上で維持できており今後も定期的に監査を行い、評価の算定漏れをなくしていく。
- (2) 平均在院患者数は 0.2 人の増加、病床利用率は 0.4%増加と微増であった。今後は医師の協力も得ながら、DPC II 期以内での退院調整を行いながら病床利用率の増加も目指す。
- (3) コスト漏れリストを作成し、ティスホリネン、被覆材の漏れが減少した。今後は、死蔵品の正確な洗い出しを行い、減少させることが課題である。

## 3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

- (1) インシデント総件数は 178 件であり、昨年度と比較し 10 件増加していきたい。インシデント発生要因として、確認不足が 8%増加していた。特に業務の煩雑さを理由とする不確実な確認行動が多かった。看護業務の見直しを行い、確実な確認行動がとれるよう環境を整えていくことが課題である。
- (2) 新規感染症の発生はなかった。針刺し事例は、前期に 1 件、後期に 2 件あった。下膳した盆にインスリン注射の針が置かれており、対応看護師が刺傷していた事例が 2 件あった。インスリン自己注射時の注意点に関し患者指導の徹底を図り、事故防止に務める。

## 4) 専門職として能力開発に努める

- (1) 新人看護師教育は、病棟のプログラムに沿い、ベトナムで技術や知識を伝達した。成長に合わせ受け持ち患者数を調整するなど個別性のある育成に努め、新人の離職はなかった。個々に合わせた教育で能力開発に務める。
- (2) 経験年数 6 年目以上のスタッフに対しラダー上位申請の支援ができず、申請が進まなかった。各スタッフが主体的に研修に参加できるよう支援し、上位ラダーを目指せるようにする。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響で研修への参加が減少した。オンライン等での参加の促進が必要と考える。心不全療養指導士の資格が 1 名取得できた。

## 5) 看護の先輩として学生指導に携わる

- (1) 看護師の態度が影響し、学生評価が低下していた。結果を元に実習環境の改善に努める。

## 6) 活気ある職場、元気の出る職場作りを推進する

- (1) 残務を依頼する役割を作り、リジャッパル用紙の見直し、情報収集の方法の変更を行ったが超過勤務の削減に至らなかった。今後は看護記録の見直しも行き、超過勤務の削減に繋げていく。
- (2) リフレッシュ休暇は計画通りに取得できた。年休取得は一人平均 5.5 日であった。年間計画を立て患者数の推移を確認し、取得推進に努める。
- (3) 超過勤務は、後期がひと月に 2.3 時間増加した。勤務形態の見直しを視野に入れ、状況改善に努める。

## 2. 病床運営状況

表1 令和2年度 病床運営状況

| 収容可能<br>病床数(床) | 診療科名                       | 月平均       |          | 平均在院<br>患者数(人) | 平均在院<br>日数(日) | 病床<br>利用率(%) | 病床<br>稼働率(%) |
|----------------|----------------------------|-----------|----------|----------------|---------------|--------------|--------------|
|                |                            | 新入院患者数(人) | 退院患者数(人) |                |               |              |              |
| 48             | 循環器内科<br>心臓血管外科<br>内分泌代謝内科 | 104.7     | 130.0    | 37.1           | 9.6           | 77.4         | 86.3         |

| 重症加算病床 |        | 有料個室   |        | 死亡者数<br>(人) |
|--------|--------|--------|--------|-------------|
| 病床数(床) | 稼働率(%) | 病床数(床) | 稼働率(%) |             |
| 3      | 72.3   | 7      | 83.1   | 7           |

## 3. 看護体制

表2 令和2年度 看護体制(令和2年4月1日現在)

| 配置人数(人) | 看護方式             | 夜勤体制(準・深) |
|---------|------------------|-----------|
| 38      | PNS <sup>®</sup> | 4:3       |

## 4. 看護統計

### 1) 重症度、医療・看護必要度

表3 令和2年年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

| 基準を満たす<br>患者の割合(%) | 4月 | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 平均   |
|--------------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|                    |    | 29.9 | 35.6 | 36.0 | 33.0 | 38.1 | 42.8 | 40.8 | 33.2 | 38.2 | 38.6 | 33.4 | 36.3 |

### 2) 部署データ

表4 心臓カテーテル検査・治療実施状況

|            | CAG・LVG | PCI・EVT | SG・PAG | BPA  |
|------------|---------|---------|--------|------|
| 実施件数(件)    | 522     | 215     | 447    | 165  |
| 対前年度<br>比較 | 47%減    | 52%減    | 25%減   | 33%減 |

表5 心臓血管外科手術実施状況

|            | 開心術   | 大血管系手術 | その他手術  |
|------------|-------|--------|--------|
| 実施件数(件)    | 110   | 39     | 111    |
| 対前年度<br>比較 | 8.9%増 | 27.8%減 | 13.2%増 |

表6 個人・集団指導実施状況

| フットケア実施件数 |          | 糖尿病教室参加者数 | 心臓リハビリ実施件数                |
|-----------|----------|-----------|---------------------------|
| 入院患者実施者数  | 外来患者実施者数 |           |                           |
| 0人        | 26人      | 19人       | 5,877件/年<br>(新規患者 1,319人) |

\* 糖尿病教室は新型コロナウイルス感染症の影響により4月20日以降中止

表7 講演会・講義・研修会等

|                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| エキスパートナースコース(糖尿病看護)研修会実施 | 令和2年2月～7月           |
| 実地指導者研修会講義 :インスリンについて    | 令和2年5月22日           |
| 看護学校講義 基礎看護Ⅰ「内分泌・代謝疾患看護」 | 令和3年1月28日、2月18日、25日 |